

市区町村名	愛媛県松山市	担当部署	防災危機管理部 市民防災安全課
		電話番号	(089)948-6795
		所属メール	shiminbousai@city.matsuyama.ehime.jp

1 取組事例名
デジタル版マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ

2 取組期間
令和4年度～（継続中）

3 取組概要
<p>大雨や台風のとときに、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理する「マイ・タイムライン」をより簡単に作成できるよう、デジタル版マイ・タイムラインを普及して、逃げ遅れゼロの取り組みを推進</p> <p>ポイント1 誰でも簡単にマイ・タイムラインが作成できるよう「松山市マイ・タイムライン防災アプリ」を導入</p> <p>ポイント2 市立中学校のマイ・タイムラインの授業も紙のシートからWeb上での作成に変更し、家族のスマートフォンのアプリを通じて共有</p>

4 背景・目的
<p>平成30年7月豪雨を教訓に、令和4年度から、マイ・タイムラインを活用した「逃げ遅れゼロプロジェクト」を展開し、学校・地域などで紙のシートを使用して防災行動計画（マイ・タイムライン）の普及を進めていた。</p> <p>令和5年度から「松山市マイ・タイムライン防災アプリ」を導入し、簡単な操作でマイ・タイムラインを作れるようになり、アプリ内で自宅周辺の災害リスクも容易に確認できるうえ、災害時には防災気象情報も入手することができるようになった。</p> <p>アプリの導入に併せて、令和4年度から市内の中学校で実施しているマイ・タイムライン作成の授業もデジタル化を進めるためWebサイトも構築し、オンライン上で作成可能とした。</p>

5 取組の具体的内容

ポイント1 松山市マイ・タイムライン防災アプリ

マイ・タイムラインを簡易に作成し、避難や気象、地震の情報なども確認できる「松山市マイ・タイムライン防災アプリ」を導入した。

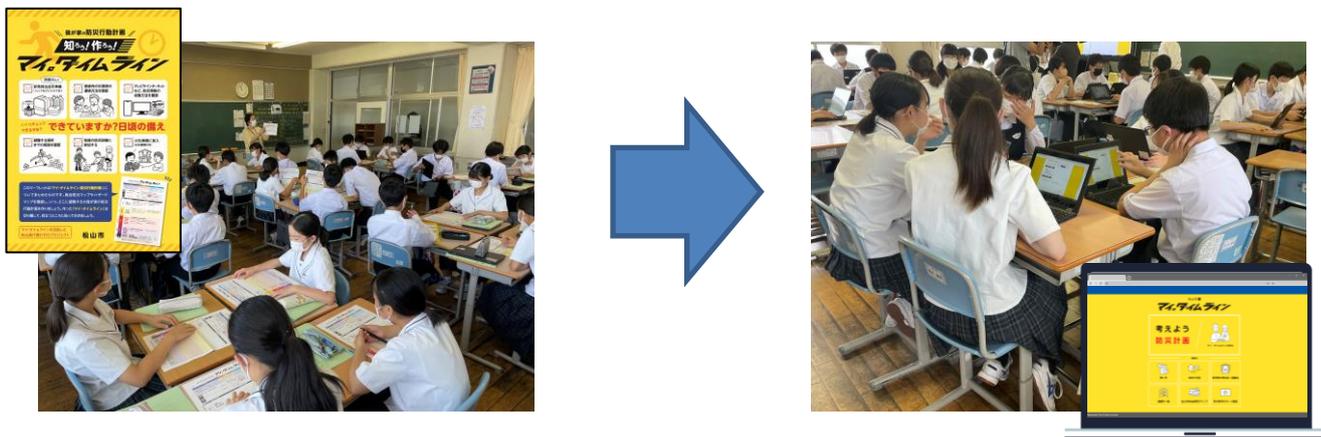
災害時は、避難情報発令時などをプッシュ通知し、行動計画の確認が可能となった。



ポイント2 Web版マイ・タイムライン（中学校の授業をDX化）

松山市では、市立中学校の1年生（約4,000人）を中心に、マイ・タイムラインの授業を実施している。

これまで紙の防災マップやマイ・タイムラインシートを使って学習していたが、「Web版マイ・タイムライン」を導入し、Web上で災害リスクの確認やマイ・タイムラインが作成できるようデジタル化した。



学校で作ったマイ・タイムラインを、アプリをインストールした家族のスマートフォンで読み取り、生徒が作ったマイ・タイムラインが、家族のマイ・タイムラインとして共有できる機能を持たせた。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・アプリ内にハザードマップの情報を搭載することで、スマートフォンの位置情報を使って、土砂災害・洪水、高潮の災害リスクを瞬時に確認できるなど、防災・避難情報の収集機能も兼ね備えており、災害時に必要な情報をアプリでまとめて確認することができるようになった。
- ・松山市では、独自の取り組みとして、全市立中学校でのマイ・タイムラインの学習を進めているが、生徒が作ったマイ・タイムラインを家族で共有できる機能を持たせることで、親世代へも波及効果を図れた。
- ・マイ・タイムラインの学習を終えた生徒が、命の大切さや災害への備えの重要性を、祖父母や父兄などに伝える「命はがきプロジェクト」も実施することにより、世代を超えた防災意識の普及を進めることができた。

7 取組の効果・費用

- ・「松山市マイ・タイムライン防災アプリ」の導入により簡単に短時間にマイ・タイムラインが作成できるようになった。
 - ・防災研修会や防災士養成講座の中でも、手軽にマイ・タイムラインを周知できるようになり、普及促進が図れた。
 - ・中学校のマイ・タイムラインの学習のデジタル化を推進することができた。
 - ・中学生など若い世代になじみのあるWebやアプリで作成することで、学びやすさや家庭内での共有がしやすくなった。
- ・松山市マイ・タイムライン防災アプリインストール数 約1万
・Web版マイ・タイムラインを使用して学習した生徒数 約4,000人
- ・デジタル版マイ・タイムライン等防災サービス導入費用 1,100万円
(うち、デジタル田園都市国家構想推進交付金 550万円)

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・スマートフォンに不慣れな高齢者などへのアプリの普及

9 今後の予定・構想

- ・スマホ教室などでのアプリの操作説明など、幅広い世代への普及
- ・地元大学などと連携したアプリの利用促進に係る共同研究

10 他団体へのアドバイス

- ・中学生が授業で作成したマイ・タイムラインを家族のスマートフォンに共有できる機能を持たせたことで、中学生本人だけでなく、その家族の防災意識の向上にもつなげることができた。
- ・大人だけでなく、子どもをターゲットにした防災の普及啓発にもぜひ取り組んでいただきたい。

11 取組について記載したホームページ

【松山市マイ・タイムライン防災アプリ】

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/keihatu/mytimelineapli.html>

【松山逃げ遅れゼロプロジェクト】

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/bousaikyouiku/matsuyamanigezero.html>